



▲お湯を浴びながら神輿を担ぐ女性たち

温泉の恵みに感謝

下田温泉祭

温泉の恵みに感謝する「下田温泉祭」が5月10・11日、同温泉街一帯で開かれました。11日のメインの「お湯かけ女神輿^{みこし}」では、はっぴ姿の女性たちが「ヨイヨイヨイヤサー」の元気な掛け声とともに神輿を担いで温泉街を練り歩き、沿道の人から勢いよくお湯がかけられていました。神輿を担いだ女性たちは、「とても楽しかったです」と話していました。このほか、ステージイベントやブリのつかみどり大会なども行われ、約8,000人の人出でにぎわっていました。

親子で仲良く化石発掘体験！

ゴールデンウィーク化石教室

4月26・27・29日と、5月3日から同5日まで、御所浦白亜紀資料館で「ゴールデンウィーク化石教室」が開催されました。同館が化石に関する興味を深めてもらおうと、毎年行っているもので、県内外から家族連れなど849人が参加。同館内を市学芸員の案内で見学した後、トリゴニア砂岩化石採集場で化石採集を体験しました。参加者は、化石を見つけると熱心に学芸員に尋ねるなど、ふだんは体験することができない化石採集に興味津々で取り組んでいました。



▲化石採集を楽しむ参加者

栖本オリジナル焼酎の5代目が完成

米焼酎「栖本太鼓の響」

栖本まちづく協議会のオリジナル商品、米焼酎「栖本太鼓の響」の5代目が完成しました。この商品は、地元産のコシヒカリ（1等米とステビア草を肥料にして栽培したステビア米をブレンドしたもの）を使用しており、くせがなく飲み口のやわらかい焼酎に仕上がっています。現在、栖本町内の商店やホテルで販売しています。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・まちづくり推進課内）☎09663111へ。



▲1,800mlが2,350円（税込・箱は別売り）、720ml（原酒43度の4合瓶）が3,500円（税込・箱あり）

自然の中で楽しく遊ぼう！

あまくさ子どもフェスティバル

市社会福祉協議会主催の「あまくさ子どもフェスティバル」が4月27日、西の久保公園で開催され約1,000人が来場しました。会場には、木工遊びやパン作りコーナーなどが設置され、参加した親子連れは、竹とんぼや紙飛行機を作って飛ばしたり、竹に巻きつけたパンを炭火で焼いたりするなど、思いおもいに遊んでいました。子どもたちは、「とても楽しくて、ずっと遊んでいきたいです」と笑顔で話していました。



▲竹に巻き付けたパンを焼く参加者たち

「天草オリーブ」ロゴデザインが決定！

最優秀作品賞に黒川潔さん

市オリーブ協議会では3月24日、2月に募集した「天草オリーブ」ロゴマークデザイン」の選考を行い、応募があった270点の中から黒川潔さん（愛媛県）の作品（左参照）を最優秀作品賞に決定しました。黒川さんは、「受賞してとてもうれしく思います。「天草オリーブ」ブランドが広く知ってもらえることを願っています」と話していました。

同協議会では今後、天草産のオリーブ商品にこのロゴマークを付けるなどして、ブランド化を図っていきます。



▲教会とイルカの群れをモチーフに天草をイメージしたロゴマークデザイン

元気に泳ぐこいのぼり

下津浦地区振興会がこいのぼりを飾る

4月20日、有明町の下津浦地区振興会が子どもたちに喜んでもらおうと、有明グラウンド周辺に41匹のこいのぼりを飾りました。同25日には、グラウンドを訪れた子どもたちは、風を受けながら気持ちよさそうに泳いでいるこいのぼりを見て、「わあ、すごかね」と笑顔で話していました。



▲泳ぐこいのぼりを眺める子どもたち